

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.70

SUMMER
2018



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

キリエ・エレイソン

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



私を憐れんでください、神よ、私を憐れんでください!
(詩篇57篇1節、ルター訳)

私の聖書の読み方が一変したのは、2011年2月のことです。それまで、日々デボーションブックを用いながら聖書を読み、コンサートのない時期は、聖書セミナーの録音を聞いて学んでいました。その学びは10年に及び、やっと自分の中に、神のマスター・プランの枠組が組み立てられたと思えるようになりました。そのような時に、欧州で参加した詩篇の学びで、指導してくださった方から、「森を知りたいければ、まず木を見よ」という言葉を聞き、何と聖書のひとつひとつのことばを大切にきて来なかったかに気付かされ、愕然としました。それからひとつの詩篇を選び、数か月間、じっくり読み込む生活が始まりました。以来、祈りとともに、ひとつひとつのことばを、音読を交えて、ゆっくりと大切に読めば読むほど、主が私の壺に深くお語りくださるのを体験するようになりました。

その時に選んだのが、詩篇57篇です。ダビデがサウルから逃れて洞窟にいた時に詠われたこの詩篇は、東方・西方教会、ルター派教会、アングリカン・チャーチの礼拝で今も歌われている『キリエ・エレイソン』である「私を憐れんでください、神よ、私を憐れんでください!」(ルター訳)で始まっています。キリエはギリシャ語で「主」、エレイソンは「憐れんでください」です。真の救いを求めて聖書を10年近く読み続けていた私は、音楽の世界に入れば入るほど聖書が求めている姿から遠ざかって行く自分があまりにも憐れになり、27歳のある日、「神よ、私を憐れんでください! 救ってください!」と叫びました。憐み深い神は、すぐに、留学地マドリッドでアメリカ人宣教師夫妻と出会わせてくださり、その2か月後、救いに導かれました。しかし、この『キリエ・エレイソン』が、神の子とされた後も、ダビデのように、神に叫び続けて行くべき祈りであることを悟ったのは、詩篇57篇を

読み始めて1か月が経った時でした。

2011年3月11日、世界を震撼させた東日本大震災が起きました。ドイツでは、日本のテレビでは放送されない、リアルな映像も放映されました。四六時中NHK, CNN, BBC ニュースをつけ、オイオイ泣き、ご飯ものを通らなくなりました。その時に、口をついて出たのが、「主よ、日本を憐れんでください!」だったのです。同時に、祖国日本のために十分に祈って来なかったことを悔い、「怠惰なこのしもべを憐れんでください!」の叫びが交差しました。

その翌年の夏、オランダで開催されたヨーロッパ・キリスト者の集いの「被災地のための祈りと賛美の午後」、そして、静岡県で行われたANRC(帰国者の集い)大会のコンサートでは、私たちの力を超えた大曲であることを承知で、バッハの「口短調ミサ」の『キリエ・エレイソン』を、信仰者たちと共に歌い叫ばせていただきました。

今年、6月28日から7月8日にかけて西日本を襲った集中豪雨は、東日本大震災とは別の形で、想像を絶する被害を及ぼしました。今、先に救われた私たちキリスト者が、再び身を低くし、心を合わせて、天から救いを送ってくださるお方に、『キリエ・エレイソン!』と叫ばなければならない時であると思っています。

私はいと高き方、神に呼ばわれます。私のために、すべてを成し遂げてくださる神に。神は、天からの送りで、私を救われます。…神は恵みとまことを送られるのです。

(詩篇57:2,3から)



『鳥のうた』と私

私は1983年に、大好きだったスペイン歌曲を勉強するためにスペインに留学しました。スペイン音楽に心惹かれるようになったきっかけは、高校生の時、テレビで見た、カタルーニャのチェロの巨匠パブロ・カザルスのコンサートでした。そのコンサートの最後に、カザルスが、「カタルーニャでは、鳥がピース、ピースと言って鳴くのです」と言って、カタルーニャ民謡の『鳥の歌』を演奏したのです。その演奏に涙が出るほど感動し、音大卒業後にスペインに留学しました。留学して初めて、この歌が、キリストの誕生と救いを歌ったクリスマス・キャロルであることを知りました。以来、伝道コンサートでは毎回のように『鳥のうた』をプログラムに加えるようになりました。

カザルスと『鳥のうた』

カタルーニャのチェロの巨匠パブロ・カザルス(1876-1973)は、1939年にスペイン内戦が始まるとフランスに亡命し、1945年にスペインがフランコの独裁政権を容認したことに抗議して、音楽活動を停止。その後、ヴァイオリニスト、アレクサンダー・シュナイダー(旧姓名アブラム・シュネイデル)の説得で音楽活動を再開しました。以降、フランコの独裁政権によって、カタラン語、カタルーニャ文化が否定されたことへの抗議と、故郷への思慕、平和の願いを込めて、カタルーニャで最も愛されているクリスマス・キャロル、『鳥の歌』をチェロ曲に編曲・演奏するようになりました。1971年10月24日、カザルス94歳の時にニューヨーク国連本部において、「私の生まれ故郷カタルーニャでは、鳥がピース、ピースと鳴くのです」と語り、演奏した『鳥のうた』は、その後、カザルスの曲として世界中に知られるところとなりました。

阻止される『鳥のうた』

しかし、これまで何度かこの歌を歌うことを阻まれてきました。数年前、軍事政権から民主主義に移行したばかりの東南アジア某国のコンサートでは、同行者から、この歌をプログラムから外した方がよいとの忠言がありました。『鳥のうた』が独裁政権に反抗するために用いられた曲であるからです。民主化されたとはいえ、未だ軍部が力を握っている国で、政治的に用いられた曲は避けた方がよいと私も判断し、また、コンサートの目的は問題を引き起こすことではなく、人々にキリストの救いを伝えることであるので、この歌をプログラムから外しました。共産主義の隣国でも『鳥のうた』は歌えませんでした。カタルーニャと中央政府の対立がすでに過熱化していた3年前のマドリッドのコンサートでは、主催者側から、カタラン語(カタルーニャの言語)の歌、特に『鳥のうた』は、マドリッドでは歌わないで欲しいという要望がありました。



バルセロナ、サグラダファミリア

カタルーニャと『鳥のうた』

今年の5月、本帰国前の2回の週末に、バルセロナとミラノでコンサート礼拝、礼拝賛美奉仕をさせていただきました。バルセロナでは、当然のことながら『鳥のうた』をプログラムに加えました。しかし、思いもよらず、『鳥のうた』の発祥地でも

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナントビル**



地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人
クリニック石田

診療科目 / 耳鼻咽喉科

〒558-0055
大阪市住吉区万代3-12-5
ハイムスタイン2階

南海高野線、帝塚山駅下車 / 徒歩10分
阪堺軌道鉄道上町線、帝塚山3丁目下車 / 徒歩5分
大阪府立急性期医療センター前 / 北に徒歩3分

 TEL.06-6676-1700
院長:石田 稔
<http://www.eonet.ne.jp/~clinic-ishida/>

オフィス家具全般

(有)吉屋

〒558-0014
大阪府大阪市
住吉区我孫子5-4-13
TEL 06-6699-2415

株式会社
富川グロリアホーム

「終の住みか」を備えるために
労じます。

〒055-0006
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49
TEL.01456-3-4000

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:<http://www.mikunikikai.com>

**atelier
phos**

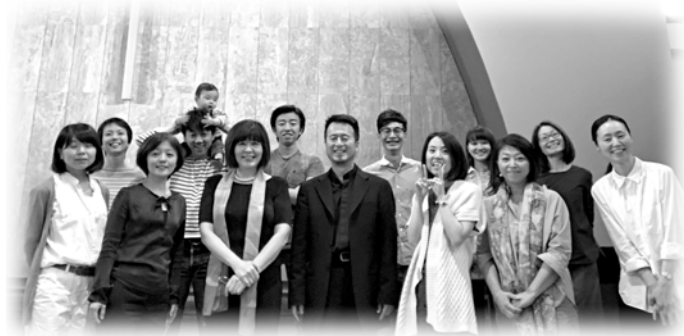
DESIGN < > WORK

<http://atelier-phos.com/>

協賛広告募集

詳細は事務局に
お問い合わせください

この歌が議論的となったのです。「今のカタルーニヤの状態を知って歌うのか?この歌がカザルスによって抗議演奏された時と同じマドリッド政府の圧政により、今カタルーニヤ政府の指導者たちが牢獄に入れられ、首相は国外にまで逮捕状が出ている。」「この歌はカタルーニヤに貢献した人が亡くなった時に歌う。」「もしくは、牢獄から私たちが選んだ人を出してくれという大規模デモの時にかかる曲である。」・・・



ミラノ賛美教会の皆さんと

驚いたのは、カタルーニヤの中にも、この歌が、18世紀から歌われてきたカタルーニヤ民謡であることを知らず、カザルスが独裁政権に抗議するために作った曲と思っている人が多くいることでした。数日祈りました。そして、家族内、教会内でさえも激しい口論になってしまうほどの緊張が続いているカタルーニヤで、カタルーニヤの痛みを自分の痛みのように感じつつ、本当の平和はキリストの十字架の救いを通してもたらされること、キリストご自身が平和であること(これは、メッセンジャーの内村伸之牧師が明確に語って下さいました)を、『鳥のうた』をもって、カタルーニヤの人々にお伝えさせていただくべきではないかと思わされるようになりました。

『鳥のうた』と『神はわがやぐら』

『鳥のうた』の2番の歌詞では、つぐみが「死は打ち負かされた。だって私のいのちであるお方がお生まれになったのだから」と歌っています。これこそ、この歌の歌詞が伝えている福音的メッセージです。ふと思い出したのが、政治的に用いられたことによって、しばらく教会で歌われなくなったルターの讚美歌『神はわがやぐら』です。ヒトラーは、反ユダヤ主義を国民に推進するために、晩年ユダヤ人を迫害したルターを歴史上の英雄として担ぎ上げ、彼の『神はわがやぐら』を行進曲として利用しました。それによって、戦後、ドイツの教会では、しばらく『神はわがやぐら』が歌われなくなりました。

この歌は、悪魔に向かって、キリストの勝利を高らかに宣言しているものです。『鳥のうた』は、キリストといういのちの誕生によって死は打ち負かされたと宣言しています。この二つの宣言こそ、この世の支配者であり、死をつかさどるサタンが最も嫌がることであるがゆえに、政治に利用され、歌詞の本来の意味が曲解され、また神の子らの口から離されてきたのだと胸に落ちた気がしました。

5月5日、バルセロナの「アブラハム教会」にて開催されたコンサート礼拝では、アンコールに『鳥のうた』を、この歌の本来の意味の解説を加えて歌わせていただきました。そして、この秋・冬のコンサートでも、『鳥のうた』を通して、死を打ち負かしてサタンに勝利された、永遠の「いのち」であるイエス・キリストをお伝えして行きたいと思っています。



5月5日バルセロナのコンサート後、内村牧師ご夫妻、バルセロナ日本語教会の皆さんと

鳥のうた カタルーニヤ民謡

1. あの幸いなる聖夜 ひときわ輝く星が出たとき
小鳥たちは美しい声で
歌いながら 祝福の挨拶を交わした

2. ベニヒワは歌う
「マリアから生まれた赤子は 何と美しいのだろう」
喜びにあふれてツグミも歌う
「死はすでに打ち負かされた。
だって私のいのちであるお方が
お生まれになったのだから」

教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか。

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。
お気軽にご相談ください。

(株)ホーリーランド
ツーリストセンター
担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:htcjr@mifty.com

賛美セミナーⅡ
DVD 2枚組
15年11月7日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠのアイテムと合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。



賛美セミナーⅠ
DVD 2枚組
13年11月4日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠ
CD 4枚組
13年11月9日東京セミナー録画
定価4,000円(税込)



賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!

工藤 篤子 著書 & 音楽CD 好評発売中

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

<p>Atsuko Kudo Walk into Zion with Jesus today</p> <p>主よ人の望みの喜びよ 定価1,500円(税込)</p>	<p>よき力に守られて</p> <p>よき力に守られて 定価2,500円(税込)</p>	<p>The true desire ほんどうの願い 定価3,000円(税込)</p>	<p>Arako Aoki Dios tan sólo Dios 神だけが 定価2,500円(税込)</p>
<p>Canción カンシオン 定価2,500円(税込)</p>	<p>Come To Me Come To Me 定価3,000円(税込)</p>	<p>讚美 Adorar 讚美 Adorar 定価1,500円(税込)</p>	<p>讚美のころ 讚美のころ 定価1,600円(税込)</p>

Notice 「賛美セミナー」主催をご希望、あるいはお考えくださる教会・団体がありましたら、どうぞいつでもお気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。



Schedule 工藤篤子 2018年スケジュール

8月	11月
12日(日) 14:00～ 2018年召天者音楽記念式(アミューホール) ～ニューホープチャーチ&医療法人社団中島医院 音楽サービスシリーズ第232回～	18日(日) 13:30～ 所沢福音キリスト教会 チャペル・コンサート
9月	12月
16日(日) 10:30～ 北浜インターナショナル・バイブル・チャーチ 礼拝奨励奉仕	1日(土) 16:30～ 阪神クリスマス フェスティバル (尼崎アルカイクホール・オクト)
22日(土) 14:30～ 社会福祉法人 日本医療伝道会 「衣笠ホーム」コンサート	9日(日) 14:00～ クライスト・コミュニティ宝塚チャペル クリスマス・コンサート
24日(月) 14:00～ 湘南キリスト教会 秋のコンサート集会	15日(土) 14:00～ 高槻福音自由教会 クリスマス・チャーチ コンサート
10月	23日(日) 13:30～ 活けるキリスト大阪一妻教会 クリスマス・コンサート
19日(金) 19:00～ 第17回AKWMチャリティー・コンサート	
28日(日) 16:00～ 宝塚栄光教会 チャペル・コンサート	

愛する皆さまへ

創造主なる主の御名をほめたたえます。

西日本豪雨による被害に遭われた皆さま、猛暑の中で、避難生活、支援復旧活動をされておられる皆さまに、
今日も主の守りと助けがありますように！
いつも、AKWMのためにお祈りとご支援をくださり、心からのお礼を申し上げます。

帰国直前の2回の週末に、バルセロナとミラノでの賛美奉仕を終えて、5月16日、無事に本帰国をいたしました。この二つの町は、私にとって、特別に思い入れのある場所です。バルセロナは、私のスペイン留学のきっかけになったカタルーニャ民謡『鳥のうた』の発祥の地、カタルーニャの州都。ここは今、州独立運動問題で大きな緊張感に包まれています。このような時だからこそ、内村伸之牧師のメッセージと『鳥のうた』をもって、平和の君であるイエス様を伝えさせていただきました。ミラノは、15年前に内村伸之牧師ご夫妻が赴任を決意される前から、主がご夫妻を送ってくださることを祈って来た地です。欧州最後の週末に、ミラノ賛美教会の奉仕を通して、牧師ご夫妻が福音宣教に奮闘されている姿や、ミラノ賛美教会の皆さんが成長し、主を見上げて信実に歩もうとしている姿に触れたこと、また、幸いな交わりの時を持たせていただけたことは、私の欧州生活をしめくくる素晴らしいプレゼントとなりました。

CHARITY CONCERT AKWM 第17回チャリティー・コンサート 西日本豪雨被災地支援



地中海ソプラノ
工藤 篤子



ピアノ
野田 常喜

2018年10月19日(金) 開演/19:00(開場/18:30)

会場:北浜スクエア(VIP 関西センター 9F) チケット:1500円
お問合せ:Tel.06-6226-1334(「ミッション・宣教の声」方、AKWM事務局)

5月16日の帰国後、5月25日に大阪市から堺市に引越しをいたしました。6月にはドイツから船便で送った荷物が届き、やっと、だいたいの片付けを終えることができました。

現在、札幌の実家に来ています。8月12日には清瀬での賛美奉仕を予定しています。10月19日のAKWMチャリティー・コンサートでは、収益金を、皆さまの祈りと共に、西日本豪雨被災地に送らせていただく予定です。多くの皆さまに、ご来場、ご協力いただけますなら感謝です。

主イエス・キリストの守りと恵みが、
皆さまとともにありますように！

工藤 篤子



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店(店番003)
普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

*三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://akworship.com/>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

AKWM事務局のメールアドレスと日本語URLが新しくなりました